

●大会運営に関する取り決め事項（バレーボール）

<開催要項>

1. 競技規則

本大会は、令和4年度（財）日本バレーボール協会6人制により実施する。但し、本大会は特別規定を別に定める。また、競技規則（特別規定を含む）に違反したチームは失格とする場合がある。

2. 競技方法

1試合3セットマッチとし上位3位を決定する。競技方法は参加チーム数により決定する。なお、リーグ戦での順位決定は勝率、得失セット率、ポイント率によって順位を決定する。ポイント率も同率の場合は、本部での抽選により順位を確定する。

3. チーム構成

- (1) 1チームは、引率責任者・監督・コーチ・マネージャー各1名、選手6名～12名とする。
- (2) 出場選手は、必ず引率責任者（当該校教員）によって引率され、引率責任者はすべての行動に対して責任を負うものとする。

4. 大会使用球と用具・装備

- (1) 使用球は、公認5号ボールとし、主催者側が用意する。
- (2) 選手のユニフォームは、規定の胸番号・背番号をつけたものとする。監督・コーチ・マネージャー・キャプテンはそれぞれに規定されたマークをつけること。また、アクセサリなど、怪我の恐れのある物の着用は危険なため認めない。

5. 組合せは大会本部にて抽選で行う。その結果を大会前日までに代表者に通知する。

<大会特別規定>

1. 競技上の注意事項

- (1) 競技開始時刻は設定するが、第2試合以降は、試合の準備ができしだい直ちにプロトコールに入る。（設定時刻は試合時刻であり、11分前にプロトコールに入る。）なお、試合開始時刻のホイッスルにチームが揃わず試合ができない場合は棄権とみなす。
- (2) 選手登録用紙に記載された選手・コーチ・マネージャー及び選手の変更は、代表者会議までに申請すること。なお、エントリー用紙は変更がある場合のみ、試合20分前までに本部に提出する。ラインアップチケットはセット毎に記録に提出する。
- (3) 審判団（主審・副審・線審・記録員等）は原則として大会本部で確保する。
- (4) ネットの高さは、男子2m40cm、女子2m20cmとする。

2. 審判上の注意事項

- (1) キャプテン・トスは試合開始時刻11分前に各コートでの記録席前で行う。代理は認めない。
- (2) 公式練習はサーブ権を得たチームから3分ずつ行う。両チーム合意の場合は合同で6分間とすることを認める。
- (3) ウォーミングアップについては、アップゾーンで行い、ボールの使用を認めない。
- (4) ワイピングについては、コート内の競技者がタオルで速やかに行うこと。タイムアウト及びセット間には、ベンチの者がモップで拭いてもよい。
- (5) 全試合2ボールで行う。デッド後のコート内のボールは速やかに転がしサービングチームに渡すこと。
- (6) スコアリング・システムは、ラリーポイント制で25点を先取したチームが勝者となる。但し、24対24の場合は、2点リードするまで続行される。第3セットの場合は、13点でチェンジコートをする。

3. その他の連絡事項

- (1) 表彰は、原則として1位と2位のみとするが、参加チームにより大会本部が決定する。
- (2) 競技中の疾病・傷害などの応急措置は、主催者側で行うが、その後の処置については責任を負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。
- (3) 参加選手は、必ず健康診断を受けて参加すること。
- (4) 競技に関する細部については、代表者にメールにて通知する。不明点は早めに本部へ連絡する。
- (5) 開会式には、監督・選手は必ず出席すること。（ユニフォーム又は学校指定の体操着を着用すること）
- (6) 重複エントリー選手がいる場合は必ず重複エントリーシートを提出すること。
- (7) 重複エントリー選手の試合時間が重なった場合はどちらか一方の出場とする。
- (8) 開催会場が異なる為、他競技との重複登録は難しい。